

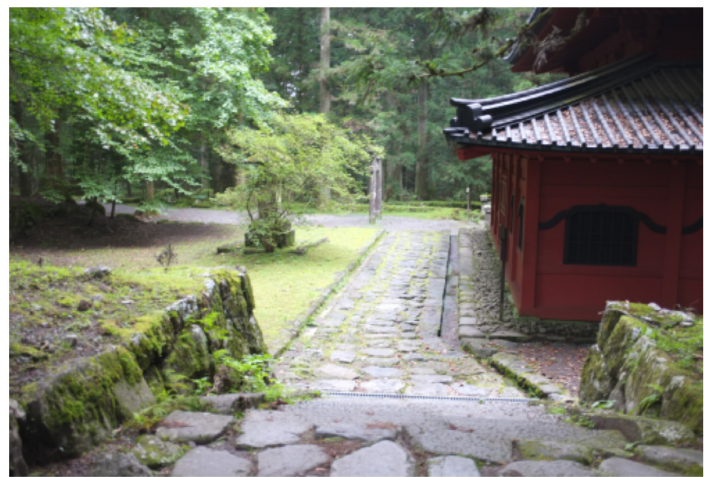
匠の街春日部かわら版

発行 備コーワ
編集室 工房えびはら

「ぶらり散歩」-34- 日光再発見③ 裏日光滝尾古道



「裏日光滝尾古道」見所が随所にある真つ直ぐ伸びる石畳の道です。連なる杉の巨木に囲まれ、神秘的なハワーを感じる日光の史跡探勝路をぶらり散歩してきました。日光東照宮の境内の北東、東照宮美術館の脇に「中跡探勝路」なる遊歩道があり、その小道は、裏日光滝尾古道につながります。最初に開山堂が、東照宮周辺の喧噪とはかけ離れた物静かな佇まいの中にあります。杉の茂る境内に、朱塗りの建物が二つあります。奥のお堂が開山堂、勝道上人を祀る霊廟で、勝道上人とその十人の弟子の木像が安置されています。手前の建物は観音堂(産の宮)。鳥居は神仏習合の名残。境内に入ると真つ先に、観音堂の異質な光景が目に入ります。正面には将棋の駒が並べられ、はかり異常な雰囲気です。



勝道上人の霊廟の横に安産信仰とはまた唐突な話ですが、行者(ぎよん)といひます。由緒書には、「この観音堂は揚柳観音を祀ったものであり、別名「香車堂」「将棋の駒」とも呼ばれる。将棋の駒の香車が戻らずに直進する駒なので、妊婦がこの駒を借りて帰り、自宅の神棚に祀ると無事出産できる」といふ安産信仰の社でもあります。出産後は借りた駒と共に新調した駒を一緒に返納するので駒の数は増えるばかりのことです。



つじや(が)訛つて香車(ぎよん)といひてもなしたのだからつかと伝えられて見立てられるといふのは珍しい気がしますが、やはり子孫繁栄にまつわることから生じた信仰なのでしょう。開山堂から先は女体山「繋がる山岳信仰の古道」、女体山の参道にも当たるこの地に女人のための信仰が興じたことも頷けます。



勝道上人墓所は、開山堂の裏手にあります。墓所の背後の岩壁は「仏岩」と呼ばれていて、仏岩の岩層で勝道上人が入寂したとも、仏岩で茶毘に付されたとも、仏岩の上部に遺骨が納められていたとも言われています。かつてこの岩壁に仏の姿をした岩が並んでいたそうですが、地震で崩れ仏岩の名のみが残っています。現在では、高くそびえる岩壁の足下の窪みに、六体の石仏が安置されています。梵天、帝釈天、四天王のうち三尊、不動明王。いずれも仏法の守護神です。腰より下を土中に埋すめ、静かに並んでいる様子は、勝

道上人を護り通すといふ固い意志にも感じられます。

【陰陽石(おんようせき)】

観音堂の左手にある個の自然石。

【北野神社】

梅鉢紋(つめばちもん)のある石標を背にした小さな祠(ほら)で、学問の神様「菅原道真をまつる」。

【神馬の碑】

参道右側の木立に囲まれた石碑。慶長5(1600)年の関ヶ原の決戦に家康公が乗って指揮したといふ名馬「白糸」の眠る。

【白糸の滝】

高さは10m弱。天狗沢にかかる。日光山中には百以上の滝がある。白糸の滝は古来から滝尾霊場の滝として名高かった。文明18年(1486)京都聖護院の道興准后が日光を訪れた時の紀行文「廻国雑記」に左の和歌があります。

せ々を経て結ぶおりのまなれや
この滝尾のたきの白糸

【滝尾神社の鳥居】

額東の真ん中に六が空いて「二二」を3度投げて入った回数で運を試すといふ。俗に「運試しの鳥居」と呼ばれる。

【滝尾神社(たきのおいでんじや)】

弘仁11年(820)、空海の創建。女峰山の女神が降臨されたことから祀られた。中世後期には、女体中宮であるためか、多くの女面が寄進された。聖地日光の中でも最も聖なる地とされてきた。東照宮北側より石畳の参道が約一キロ続き、境内には口糸の滝(運試し)の鳥居・縁結の世・御神木二本杉・稲荷社・酒の泉・安産子種石等がある。御祭神は田心姫命。子授け・安産・子育ての神と称えられている。

裏日光、滝尾古道は、平安時代からの歴史が感じられる古道でした。もしかしたら、本物の日光はこちらかもしれません。日光再発見の散歩はお薦めです。

(元)日光十都市化研究所長 海老原

「歴史を歩く」第一四七話 本逢で復元が進む鳥取城

筆者が初めて鳥取城を訪れたのは、二〇一五(平成二七)年、鳥取で開催された歴史研究会全国大会に参加した時です。JR鳥取駅に降り立つと、静かな落ち着いたたたずまいの駅前広場とすつきりとした青空が広がる光景に、心が洗われる思いがしました。

鳥取城は鳥取駅北口から北東に約二キロ離れた久松山(きゅうしょうざん、標高二六三M)にあり、戦国期は山城でしたが、江戸時代に入り三万石の大藩、鳥取藩池田家の居城となり、山麓に城館がつくられました。明治に入りほとんどの建物は破却され、現在は天守台、高石垣、堀の一部などが昔の名残をとどめています。鳥取市街地を一望できる絶景スポットである「一丸(藩主の居所)までは城跡の久松公園入口から徒歩約十分、山上「一丸(戦国期の本丸)までは約四十分かかります。二〇〇六(平成十八)年に日本百名城(六三番)に選定されました。

鳥取城といえは、よく知られているのは「秀吉の鳥取城攻め」です。一般には「高松城の水攻めと中国大返し」と並び「鳥取城の兵糧攻め」は豊臣秀吉のすべれた知略と言われています。しかし、現地では悲惨な「秀吉の飢(か)つえ殺し」として伝えられており、地元の人々にとっては今でもあまり愉快な話ではないようです。当時の鳥取城主吉川経家は切腹を条件に将兵の助命を嘆願し開城しました。経家は今なお鳥取市民から敬愛されており、一九九三年には城跡のみもと、鳥取武道館に隣接して銅像が建立されています。

二〇〇五(平成十七)年に鳥取城を木造で復元する計画が策定され、二十年の歳月をかけて幕末期の姿を再現しようとしています。二〇一八(平成三〇)年には



鳥取城址の見事な高石垣

大手橋にあたる擬宝珠橋が、二〇二二(令和四)年には大手門が完成し、二〇二五(令和七)年三月には中の御門渡櫓門が復元予定です。その後、太鼓御門や城のシンボルである「一丸の御三階櫓、土塀等を復元する計画になっています。

城址には明治末期に建てられた池田家の別邸である洋風建築の傑作、白亜の洋館「仁風閣」(国指定重要文化財)が、その正面には鳥取の歴史、自然、美術等を展示する県立博物館があり、一見の価値があります。この他、郊外にある池田家墓所は一族七八基の墓碑が並び、大名の墓所としての威容を今に伝えています。また、墓所の周辺は古代因幡の国府所在地で、大伴家持の歌碑のある万葉歴史館や武内宿禰(たけのうちのすくね)を祭神とする因幡一の宮宇倍神社があり、古代ロマンに思いを馳せるのにふさわしい場所になっています。



【筆者紹介】内藤 敬雄
其元松本大学教授(元副学長)、松本教育総合研究所理事、全国歴史研究会会員、都市銀行で国際金融に携わり、シンクタンクのエコノミストを経て、大学教授に転身。専門は国際経済・金融。中学以来「趣味は歴史」で、現在も歴史探訪とエッセイ執筆を続ける。



発行所：(株) コーワ
発行者：広地 進
制作・編集：工房えびはら
発行日：毎月20日発行

読者の広場

朝日新聞と森永牛乳を皆様の笑顔のために届ける情報誌



漢字ぐるぐるパズルは、パズルにリストの漢字を白マスに入れて、漢字しりとりを完成させてください。リストに残った四つの漢字でできる熟語が答えです。

正解者の方に抽選でプレゼント致します！
(希望商品を2つまで書いてください)

- ①朝日新聞 天声人語書き写しノート 5名様
- ②森永絹ごし(こ)豆腐(常温保存可) 10名様
- ③森永充実野菜(常温保存可) 3本 5名様
- ④森永まろやか黒酢(黒糖&りんご味) 3本 5名様

リスト
回金子心推地売歩類
下郷根食水前日平理
安魚月上人説土文名和
気銀事進転部本

冬	日		塩		
理	小	明	庫	全	運
	木	工	実	抛	
		上		天	
菜		界	世		校
	想	商	気		誉
		料	遊		挽
宿		学	理	供	菓

難易度 ★★☆☆ (中級) 答え

本	見	倒	面	誌	刊	月	霜
家	題	話	電	長	院	病	物
族	性	音	録	忘	備	兼	動
旅	能	楽	小	大	物	色	活
行	力	会	春	空	実	才	部
業	開	社	有	名	無	画	学
地	発	起	人	形	劇	映	法
平	線	路	線	図	画	工	作

明水紫山

編集室のミスで前号と同じ問題を出してしまいました。17名の方が正解でした。
※毎号楽しみにしていたみなさまには、たいへんご迷惑をおかけしました。

☆☆☆「漢字ぐるぐるパズル」クイズ解答応募先☆☆☆

ハガキかメールで「答え」、「住所・氏名」をご記入の上、コメントを添えてご応募ください。
〒344-0055 春日部市八木崎町1-19 (株)コーワ「漢字ぐるぐるパズル」係 メール otayori@asa-kowa.com まで
ハガキは12月28日消印有効、メールは12月末日到着有効(当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます)

現場 一期一会 ボランティア元年から30年

「行政からの支援が届いたのは2週間後でした」
東日本大震災の被災地で地域活動を担う住民団体の代表が、2011年の大津波を振り返りました。

東京・虎ノ門の日本消防協会が昨秋にあった、「地域総参加の防災力向上大会」の一幕です。各地の先進例が報告されました。壇上の代表が訴えたのは、命を守るための自助・共助の大切さです。

今年、ボランティア元年と呼ばれる1995年から30年です。阪神大震災では翌朝の朝日新聞投稿欄に「ボランティアの呼びかけをしてみてはどうだろう」との提案が載りました。

全国から集まる支援の輪が、一気に広がりました。その後の流れを分析したリポートが2022年、「ボランティア白書」に掲載されました。筆者は国際ボランティア学生協会理事の宮崎猛志さんです。改めて話を聞きました。

04年の中越地震や台風被害で支援を経験した人たちが、次の災害に備えて人材育成を始めました。東日本大震災では、支援の中心が建築や医療など専門的になっていったそうです。

一方、近年の課題は支援側の人手不足です。災害の広域化や多発、激甚化があります。能登半島地震でも問題になりました。

宮崎さんの提案は、住民団体が演壇から指摘した話と重なります。

まずは「自助と近助(近所の助け合い)」で、その後、外からの支援を受け入れる。関連死の防止は公助の役割が大きい――。

防災も支援も、まずは身の回りの助け合いから、が鍵のようです。



【イラスト:あやか】

Cooking

きのこ豚肉の重ね蒸し

1人分296kcal 塩分2.3g 10分

- 材料(2人分)
- エノキダケ.....200g
 - シイタケ.....3枚
 - 豚バラ薄切り肉(しゃぶしゃぶ用).....120g
 - ダイコン.....150g
 - 酒.....大さじ3
 - ポン酢しょうゆ.....大さじ1/2
 - 万能ネギ(小口切り).....適量
 - 一味唐辛子.....適量
 - 塩.....小さじ1/2



【作り方】
①エノキダケは石づきを取って粗くほぐす。シイタケは軸を取って薄切りにする。ダイコンはすりおろして水けをきる。
②フライパンにエノキダケとシイタケを敷き、豚肉を広げて重ねる。塩と酒を加えてふたをし、弱めの中火で熱し、6分ほど肉の色が変わるまで蒸す。器に盛り、ダイコンをのせてポン酢しょうゆをかける。万能ネギをのせ、一味唐辛子を振る。

料理・市瀬悦子 撮影・木村拓

当店ご購入者様へ

便利なWEBサービスを開始しました! WEBからお休みのご連絡や各種お申込みを受付けるサービスを開始しました。24時間365日ご利用いただけます。

【PC/スマホの方】 <https://www.asa-kowa.com>
☆携帯の方はこちら
【空メール: y@asa-kowa.com】

※件名、本文は必要ありません。
※受信制限をご利用の方は、「asa-kowa.com」からのメールを許可してください。



お便りコーナー

◆11月の終りになって暖かい日とダウンコートで外出の日があります。だんだん秋が短くなり堪能する間もなく、急に厳冬の季節が来るでしょう。自然現象なので、愚痴を言っても仕方がない。森羅万象全て学問なりと考え、1日1日を大切に生きていこうと思っています。
【南 N.O.Nさん】

◆この所急に寒く成りました。今年の夏の暑さの長いこと。秋を感じることもなく冬が来たように体調管理が大切ですね。昨年と比べて寒くなる予想。インフルエンザに成らぬように心がけましょう。
【中央 M.Tさん】

◆急に寒くなり冬物への衣替えもまだなのにあわてています。老いの身はついて行けません。
【粕壁 H.Sさん】

◆三寒四温のことですね。先日新聞紙上で詩人の谷川俊太郎さんが亡くなりました。やさしい言葉で表現しつつ生きてきました。このやさしさが大好きでした。「冥福をお祈り致します」。
この問題 先月とすっかり同じでした。
【粕壁 H.Tさん】

◆ぐるぐるは6年ぐらいい解いています。今月はおどろかされました。先月と同じ問題だったのです。どう解いても先月と同じ答えになるのです。(佛)コーワさんに電話をして確認をとって投かんしました。
【梅田 K.Eさん】

◆毎年新聞の「天声人語」や「ひととき」、川柳などに残ったものをA4ノットに貼ってきた。毎年びっしり貼っても1冊では足りない。昨年天声人語の「なせばヒトだけが老いるのか」若い世代を支えるために、シアラ存在が重要なから「は老後の指針」と思っている。「荒川100年」も楽しみです。
【大沼 N.Tさん】

◆美しい夕焼けをスマホで撮っていたら、「きれいよね、夕焼け」と声をかけられて、「その煙で収穫したんだけど、持ち帰るの重いからもらってくれない?」と、ハヤトウリをいただきました。相手に気を遣わせない温かい言葉、見習いたいです。
【豊町 T.Tさん】

◆今回は問題が先月と同じものとなっています。最近では工事中のミス、製造のミス、配達のミス:等いろんなトラブルが報道されていますが、今回のミスは誰にも迷惑がかからないと思われ、ほのぼのとした感じがします。
【豊町 K.Kさん】

◆買い物帰りに自転車を転倒させ、商品が道ばたに散乱した。年ごろ五六歳の女の子が駆け寄り寄ってきて、だまっつて品物を拾い上げ手渡してくれた。突然のごとき「ありがと」と言うのが精一杯だったが、心中感嘆しつつ親御さんのしつけのよさを思うにつけ、このようなこともたちがらふえていたら、春日部市がもっともっと住みよい街になるに違いないと思った。
【大場 S.Sさん】

◆今月五日に高校時代の同窓会が開かれた。九十寿の会合とあって出席者は大幅に減ったが出席者は互いに健康法を披露し合った。詩吟やり、身体摩擦やり、早朝の散歩など各人各様であった。来年も集まろうと(こ)豆腐(常温)して会を終了した。
【備後西 Y.Tさん】